

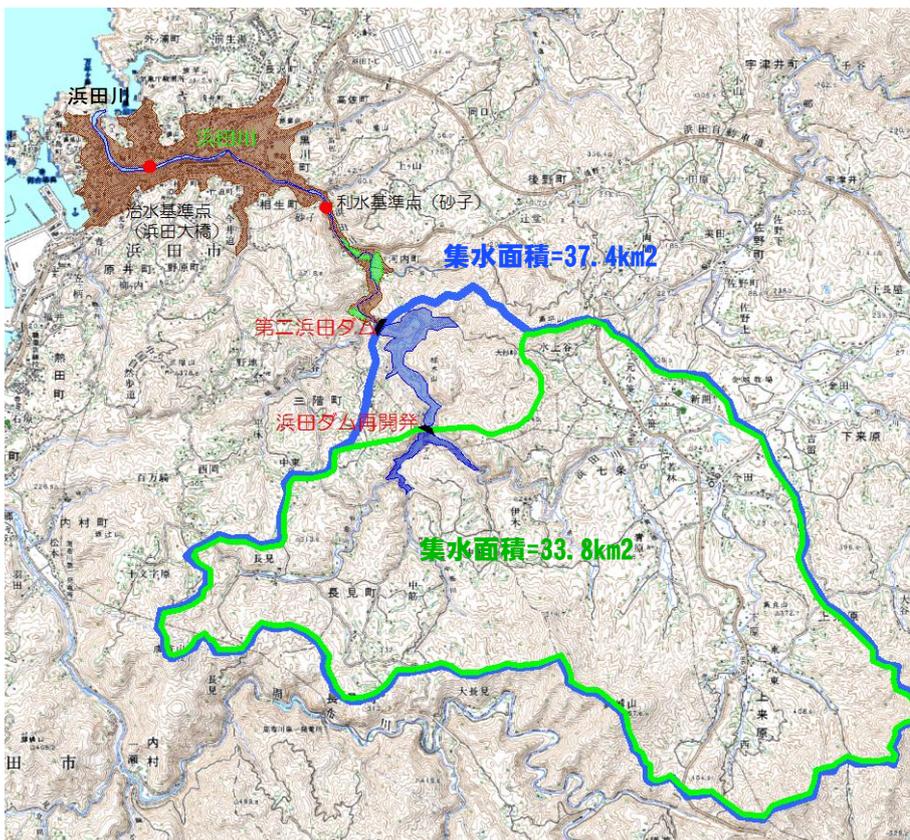
浜田川総合開発事業 (浜田ダム再開発、第二浜田ダム建設)

発行にあたり

昭和58年7月および昭和63年7月の梅雨前線豪雨により、浜田市街地を中心にかつてない大災害を受けました。特に浜田川沿川は、住家はもとより公共施設、商業施設、医療施設、JR、国道9号等の幹線交通網が集積しており、地域の行政・経済・生活の中心をなしていることから、抜本的な治水対策が望まれています。

これらの大災害から約20年が経過した今、平成5年度より着手した浜田川総合開発事業は、工食用道路の施工をほぼ完了し、今年度末にはいよいよ第二浜田ダム本体工事に先立つ転流工事(仮排水路トンネル工事)の施工を始めます。これまでに、貴重な用地を提供していただいた皆様をはじめ、たくさんのご理解ご協力をいただいた皆様には深く感謝しております。

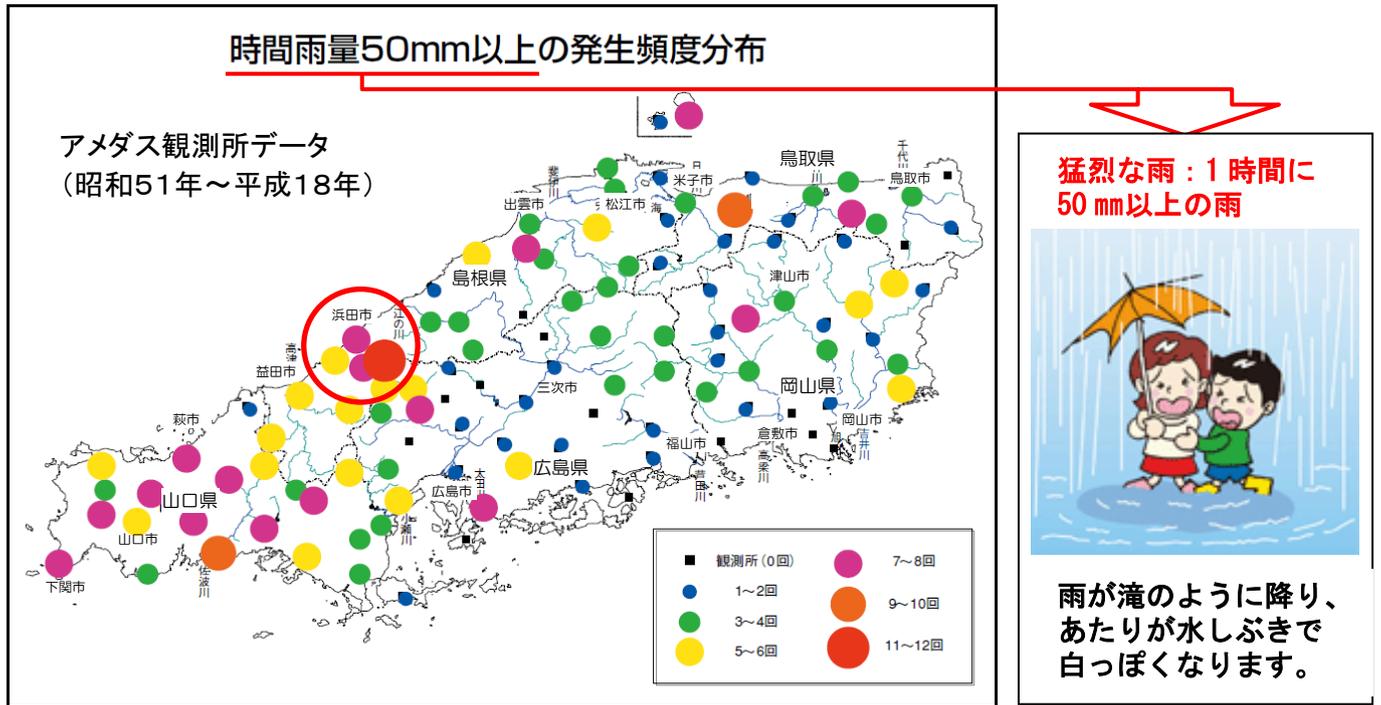
今後は、地元説明会はもとより、この「**ダム建設通信**」などにより情報提供を行いながら早期完成を目指す所存ですので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。なお、今回の第1号通信では、「過去の洪水」、「ダムのはたらき」、「2つのダムの概要」などを掲載しております。また、次回の第2号では、「工事の進捗状況(付替道路など)」他を掲載する予定です。



昭和38年3月	現在の浜田ダム完成
昭和58年7月	梅雨前線に伴う洪水により大きな被害を受ける
昭和59年度 ～平成元年度 (6年間)	予備調査
昭和63年7月	梅雨前線に伴う洪水により大きな被害を受ける
平成2年度 ～平成4年度 (3年間)	実施計画調査
平成5年4月	建設事業に着手
平成6年11月	地元協議会と基本協定を締結
平成11年2月	損失補償基準協定を締結

過去の洪水

浜田川流域は過去30年間で、時間50mm以上の雨が中国地方で最も多く発生しています。



昭和58年7月および昭和63年7月の梅雨前線豪雨では、24時間350mm以上の雨量があり、上流に浜田ダムがあったにも関わらず、浜田市街地は水浸しになり、甚大な被害を受けました。

昭和58年7月 24時間雨量 351mm (浜田測候所)



昭和63年7月 24時間雨量 395mm (浜田測候所)



このような豪雨災害を浜田市街地で二度と起こさないために、平成5年度から浜田ダム再開発および第二浜田ダム建設に着手しています。

ダムのはたらき

①洪水を防ぐ！！

ダムに水をためるのは、洪水を防ぐためです。
大雨が降った時には、第二浜田ダムと浜田ダムの2つのダムで川の水を調節して、洪水を防ぎます。

②水を利用する！！

ダムに水をためるのは、雨が少ない時に必要な水を使えるようにするためです。
日照りが続いた時には、ダムにためた水を少しずつ川に流して、川の生き物や田畑の農作物を守ります。

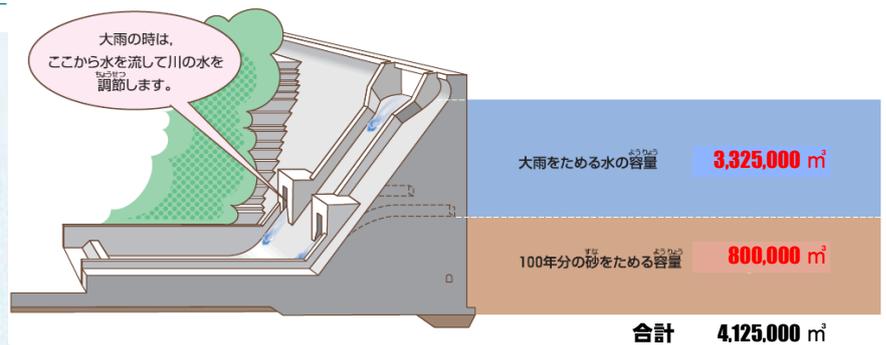


治水
2つのダムが完成すると、100年に1回の洪水でもあふれない。

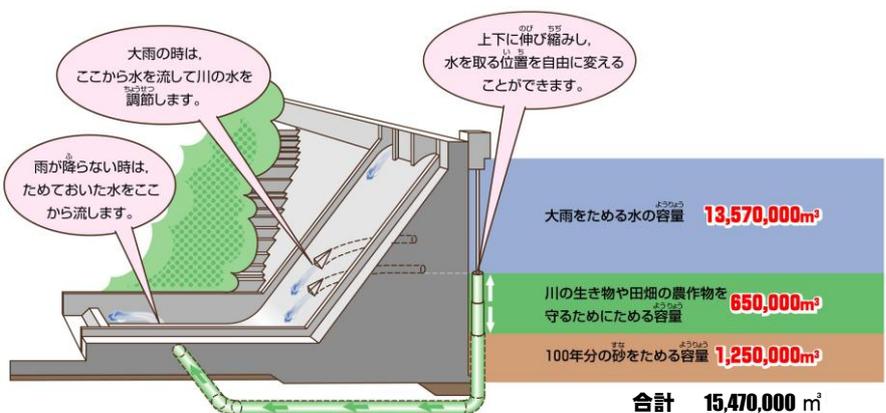
浜田川総合開発事業がもたらす2つの効果！

利水
第二浜田ダムが完成すると、10年に1回の水不足でも大丈夫。

2つのダムの概要



■洪水を防ぐ：既設のゲートを撤去して、現在の予備放流方式を自然調節方式に変更、浜田ダム地点の計画高水流量690m³/sのうち、330m³/sの洪水を調節します。



■洪水を防ぐ：第二浜田ダム地点の計画高水流量630m³/sのうち、540m³/sの洪水を調節します。
■水を利用する：既得用水の補給や、川の動植物の生息地の状況を考慮し、砂子地点において0.48m³/sとなるように、第二浜田ダムから水を流します。

事務所の概要

浜田河川総合開発事務所は、島根県の石見地方で建設と調査が進められている浜田ダム再開発、第二浜田ダム（浜田川）、波積ダム（都治川）、矢原川ダム（矢原川）の4ダムについて効率よく事業を進めるための事務所で、平成5年4月に現在の場所（浜田市竹迫町）に開所されました。



職員の紹介

浜田河川総合開発事務所では、第二浜田ダム本体工事の着工を控え、今年度4月に工務担当が3名増強されました。平成19年度は下写真の13名で浜田川総合開発事業を担当しています。

●業務グループ

事業の予算決算・入札契約・用地補償などに関する事務を担当します。

●建設第一グループ

ダム本体（浜田ダム再開発、第二浜田ダム建設）に係る調査・設計・建設などに関する事務を担当します。

●建設第二グループ

付替道路および工事用道路に係る調査・設計・建設などに関する事務を担当します。

今後も事業に対するご理解とご協力をお願いいたします。



お問い合わせ先

安心して暮らせる浜田のために！
島根県浜田河川総合開発事務所 建設第一、第二グループ

〒697-0015 島根県浜田市竹迫町 2373-4
TEL 0855-22-8215 FAX 0855-22-8006
<http://www.pref.shimane.lg.jp/hamadakasen/>